

No.151
2023
Winter

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication

蒼穹 30th Anniversary



CONTENTS

八戸工業大学

- p2-3 学長挨拶／50周年記念式典・祝賀会／同窓会より寄付／まちなか学園祭／地域産業総合研究所記念イベント／50周年記念シンポジウム
- p4-5 全国 ET ロボコン準優勝／学内ロボットコンテスト／軟式野球部全国大会出場／アイスホッケー部インカレ出場／彩才祭開催／新年度三部会役員決定／高雄科技大学協定／水交会記念品贈呈／松平病院包括協定／学生作品展／オープンキャンパス予定／入試日程／主な予定

八戸工業大学第一高等学校

- p6-7 工大一祭／心の教室／クリーン白銀／税に関する高校生の作文表彰／八戸海上保安部見学会／風力発電施設体験研修／八戸港工事現場見学会

八戸工業大学第二高等学校

- p8-9 進路状況中間報告／美術コース誌上作品展／SDGs 達成のために（夢相伝／青森県課題解決のためのWG／気候変動学習会）／修学旅行／高校総合文化祭（美術部門・演劇部門）

さくら幼稚園

- p10-11 クリスマスはっぴょうかい／かたぐるま／ようちえんってこんなところ／とらんぼりん

八戸工業大学第二高等学校附属中学校

- p12 修学旅行／コース別研修／学びのプログラミング／村田君入賞
- p12 お知らせ／理事会・評議員会



Mobile & iPhone & Android
◀◀◀モバイルサイトへアクセス

八戸工業大学開学 50 周年

創立50周年から更なる飛躍を目指して 学長 坂本 禎智



新年明けましておめでとうございます。

今年度八戸工業大学は、創立50周年イヤーとして、式典、シンポジウム、まちなか学園祭の開催などと様々な活動を展開してきました。特に、これまで学内で実施していた学園祭を、まちなかで行ったことは特筆に値します。

開催に先立って学生たちは、八戸市役所、八戸市美術館など様々な機関と打合せを行い、苦労や悩みを抱えながら活動し、その実現に漕ぎつきました。イベントの計画・立案から実施にいたるまでと、学生たちにとっては貴重な体験となりました。新たな形での市民との交流の機会ともなり、ここで得られた成果や経験をこれからの学びに生かしてほしいと願っています。

さて、新しい年を迎え、本学は次のステージに歩みを進めています。大学の使命は、何と言っても国や地域、時代が求める人材育成と研究、そして社会貢献です。いま社会は、デジタル化の推進や、カーボンニュートラルの実現に向けた活動の推進、そして人生100年時代に向けた社会シ

ステムの構築などと大きく変化しています。これに伴い、産業構造や就業構造が変わり、また人々のモノやコトに対する価値観も大きく変わってきています。

このような状況下でも、様々な課題に柔軟に対応して解決に導き、幸福で豊かな社会を創造するためには、「人、モノ、社会」それぞれを結び付け、新たな価値を創造できる力の育成が必要と考えています。そのために本学は、今後、今年度構築した文理横断教育、分野横断教育など幅広い分野の知識とその応用力を身につける教育を通じて、地方創生を担う人材、幅広い素養を持った有為な人材を育成していきます。また、本学の学生以外にも、初等・中等教育との連携による教育、並びに一般社会人への啓発も含めて、幅広く人材育成活動を推進していきます。

更に、今後本学は、国や地域社会が抱える諸課題を、産官学金、多くの機関と深く密接に「連携・協働」し解決に導くことで、地域社会の発展に貢献していきたいと考えています。地域に開かれた「工学×デザイン×地域」の融合による教育と研究、並びに地域貢献の拠点大学として邁進していきます。

今年もよろしく願いいたします。

記念式典・祝賀会開催

10月22日、本学創立50周年記念式典と祝賀会が八戸グランドホテルにて開催された。

国歌斉唱に続き、開学から今日に至るまで本学を支えてくださった物故者の方へ黙祷をささげた。坂本禎智学長の式辞、柳谷利通理事長の挨拶があり、引き続き来賓代表として前衆議院議長大島理森氏より「八戸工業大学は工業都市として発展途上にあるこの地域の要望に応え開学、地域に根差した大学として発展してきた。これからも邁進して欲しい」と祝辞をいただいた。

50周年にあたり、大学のブランドイメージを高めるためシンボルマークを公募。見事採用となった作品の披露が行われ、制作者の村上正剛氏に坂本学長から感謝状が贈られた。



在学生代表として学友会委員長三田知広さん（工学科3年／茨城・勝田高）と学友会副委員長関口結実さん（工学科2年／八戸北高）が挨拶を述べ、式は終了した。

引き続き開催された「八戸工業大学創立五十周年を祝う会」では富士信雄同窓会会長、熊谷雄一八戸市長からご挨拶をいただいた後、鏡開きが行われた。保護者後援会会長の葛西拓磨氏の乾杯で祝賀会が始まり、「50年の歩みと今、そして未来」と題した動画が上

映された。参列した歴代の学長、同窓生や懐かしい教職員は在学当時を振り返り、話に花を咲かせ親交を温めていた。



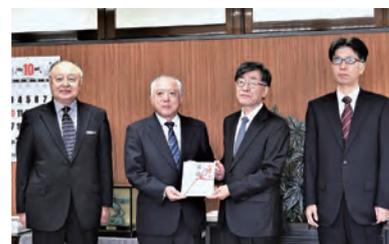
同窓会より寄付金贈呈

10月17日、本学同窓会会長富士信雄氏（写真中央左側）と副会長浅利能之氏（写真左）が坂本禎智学長（写真中央右側）と阿波稔学長補佐（写真右）を訪れ、寄付贈呈式が行われた。

この寄付は母校創立50周年の節目の記念事業を盛り上げ支援することを目的とし、富士会長から坂本学長に1,000万円の目録が手渡された。

坂本学長から「大学の活性化のた

めいただきました寄付金は有意義に使わせていただきます」とお礼の言葉が述べられた。



まちなか学園祭

10月22日・23日、八戸市庁前広場、八戸市美術館を会場に第50回八戸工業大学学園祭『まちなか学園祭』が行われた。大学キャンパスを飛び出での初開催は、曇り空にも関わらず賑わいをみせ、模擬店の食べ物をほおぼりながら「昨日も来ました」と笑顔の市民もいた。

屋外では軽音楽部やストリートダンス愛好会によるパフォーマンスやビンゴ大会が行われた。また、運動部や文化系サークルの屋台が並び、美術館の屋内では演奏会やeスポーツ大会、屋外広場には射的、カードゲームや喫茶コーナーなどのテントが軒を並べた。



地域産業総合研究所記念イベント

10月22日・23日、ばんらばにて50周年記念事業「八工大まちなかキャンパス」の一環で本学地域産業総合研究所主催イベントが行われた。

防災やSDGsなど、研究所に所属する教員の研究を紹介するポスターや防災備蓄品が展示され、ペーパークラフト教材を使って防災の知識を身につける体験型講座が実施された。

2日間で100名を超える市民の来場があり、盛況のうちに終了した。



八戸工業大学創立50周年記念シンポジウム

10月29日八戸ポータルミュージアムはっちにて、「工学×デザイン×地域～大学から発信する地域の活性化～」をテーマに、地域に貢献する大学のあるべき姿や地方創生における大学の役割について、記念シンポジウムが行われた。

京都光華女子大学短期大学部鹿島我教授が基調講演「地方活性化に直結する産学連携20のプロジェクト～京都光華女子短大が目指す学び～」を、感性デザイン学部皆川俊平准教授、宇野あずさ講師はデザイン思考や感性デザイン学部における実践例「地域のつながりを形成する場づくり：北東北でのデザイン実践を事例に」を発表。工学部小藤一樹准教授は八戸を舞台とした卒業設計の作品「八戸を舞台にした学生の設計作品～卒業設計・総合デザインの課題から～」を紹介し、学生が八戸のどこの何に着目し設計を構想したのか等の解説を行った。



ETロボコン全国大会で準優勝

11月17日横浜市でETロボコン2022チャンピオンシップ大会(全国大会)が開催され、工学科(システム情報工学コース)山口広行准教授の研究室チーム「ヒット&ラン」が、プライマリークラスで準優勝に輝いた。

プライマリークラスには全国10地区より選出された30チームが参加し、指定されたロボットに搭載したソフトウェアの性能を走行競技によって競い合った。競技課題を全てクリアしたのは優勝チームと「ヒット&ラン」のみで、その技術力の高さを称賛された。



チャンピオンシップ大会に参加した同コース4年の昆野幹人さん(写真左:岩手・遠野高)と柳沢元就さん(写真右:八戸工高)は、準優勝という結果を残せたことを喜び、「社会人になってからも活かせるスキルを身につけられた」と話してくれた。

学内ロボットコンテスト

工学科(機械工学コース)3年生開講「プロジェクト実習」の成果発表会を兼ねた第25回ロボットコンテストが、12月20日、本学で行われた。3年生34名が8グループに分かれ7月から設計を開始、9月から後期実習の中で製作を行い、グループで連携しながら1台のロボットを完成させた。



競技は対戦形式で、2グループに分かれて予選リーグを行い、上位2チームずつが決勝トーナメントに進出できる。5分間で、直径約90mmの大きさの円柱をより高く積み上げた方が勝ちというルールだ。優勝を目指した決勝トーナメントの試合では接戦が多く、大会は多いに盛り上がった。

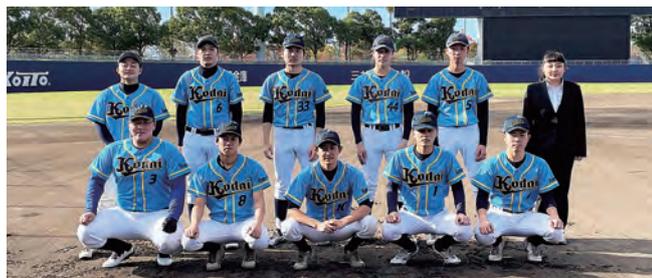


軟式野球部全国大会出場

11月14日～18日、第45回全日本大学軟式野球選手権大会が大阪府で開催され、全国から23チームが参加した。

本学は投手菊池健太さん(工学科3年/岩手・釜石高)、捕手鶴ヶ崎侑斗さん(工学科2年/工大一高)のバッテリーで、第1日目第1試合(大阪市/大阪シティ信用金庫スタジアム)に出場。打率No.1を誇る駒澤大学に胸を借りる形で試合に挑んだ。

2回表で5対3と逆転したものの、3回裏に逆転され6対13で敗退した。防御率に課題を残す結果となったが、目標を新たに来年に向け頑張りたい。



アイスホッケー部、インカレ出場!

アイススケート部(アイスホッケー部門)が11月18日～20日に八戸市で行われた「令和4年度東北地区学生アイスホッケー選手権大会兼第95回日本学生氷上競技選手権大会東北地区予選」にて準優勝し、インカレ出場を決めた。

アイスホッケーは、選手交代が自由なスポーツであり、最低でもゴールキーパー(GK)1人、プレーヤー10人が必要人数である中で、GK含め7人で勝ち取ったインカレ出場は歴史的快挙である。なお、インカレ出場は2年連続18度目。



彩才祭開催

まちなか学園祭が終了したばかりの11月5日・6日、ショッピングセンターラピアで文化系サークル8

団体が参加し文化会主催「彩才祭」が行われた。趣向を凝らした展示に、学生らは来場者とコミュニケーションをとりながら活動を紹介していた。



三部会新役員

11月、令和5年度学生会役員・体育会・文化会の役員の改選が行われ、以下のとおり決定した。

学生会

委員長	関口 結実	2年
副委員長	下山 華躍	2年
	荻谷 侑香	2年
会計監査	二木 七海	2年
	木村 友	2年
	坂本 恋瑚	1年
	西澤 悠空	1年

体育会

会長	廣瀬 理子	2年
副会長	新屋 歩	2年

会計監査	島脇 拓巳	1年
	佐藤 一牙	1年

文化会

会長	葛西 雄大	2年
副会長	橘 恭史	2年
会計監査	高山 楓香	2年
	坂本 涼翼	2年
	澤田 京護	2年
	川口 左恭	2年
	村田 鈴花	2年

台湾高雄科技大学協定締結

12月12日、台湾高雄科技大学、台湾財団法人金属工業研究発展中心と本学の三者による基本合意契約が締結された。本学より、坂本禎智学長と金子賢治学長補佐が訪台し、高雄科技大学において三村申吾青森県知事の立会いにより締結式が行われた。本基本協定締結により今後、学生の短期研修や長期研修、各機関の研究シーズ把握のためのシンポジウム等を開催し、ひいてはSDGsやカーボンニュートラルなどグローバルな課題を研究や学修のテーマとして掲げ、共同によるプロジェクトを連携して行うこととなる。



松平病院と包括協定締結

本学と社会医療法人松平病院は、それぞれの公共性・公益性をさらに高めるために、包括協定を締結。12月6日、本学にて坂本禎智学長と社会医療法人松平病院 理事長・院長の北條敬氏により協定書に署名が行われた。

この協定締結により、学生の課外活動を含めた諸活動の場の提供を受けることや医療福祉を工学・デザインの融合により支援することなど、今後両機関の知見・活動がさらに活性化され、その成果が地域に還元されることを目指す。



2023年度入試日程

入試区分	願書受付期間 (必着)	試験日
総合型選抜試験	第3クール 1月23日(月)～2月1日(水)	2月13日(月)
	第4クール 2月27日(月)～3月3日(金)	3月8日(水)
一般選抜試験	後期 2月13日(月)～2月23日(水)	3月3日(金)
大学入学共通テスト 利用選抜試験	中期 2月1日(水)～2月13日(月)	2023年 1月14日(土) 1月15日(日)の 大学入学共通 テスト
	後期 2月27日(月)～3月13日(月)	
外国人留学生特別選抜試験	後期 2月27日(月)～3月3日(金)	3月8日(水)
帰国生特別選抜試験		

水交会、液晶ディスプレイ寄贈

電気系同窓会の水交会より、大型掲示装置（65型液晶ディスプレイ）が寄贈された。11月21日に贈呈式が行われ、同会会長河原木琢也氏から、工学科学科長補佐石山武教授に目録が手渡された。寄贈いただいた液晶ディスプレイは、工学系発展プログラム「ロボット工学プログラム」の講義など、学内で広く活用していく予定である。



ばんらぼ学生作品展

11月中旬～12月下旬にばんらぼにて、感性デザイン学科2年生成田真緒さん（百石高）作のポストカード「I don't know about KAWAII」、西谷真希さん（弘前中央高）の油絵をはじめとした作品「NOISE SPANKY」の展示が行われた。ばんらぼは、今後も学生の作品発表の場を提供していく。



春のオープンキャンパス開催予定

開催予定日：2023年3月11日（土）

春のオープンキャンパスを開催予定です。詳細については本学 HP の入試情報>入試インフォメーションをご覧ください。



(<https://www.hi-tech.ac.jp/exam/info>)

2月～4月の主な予定

2月	9日	最終学位論文提出日
	13日	総合型選抜試験第3クール
	17日	リーダーズ研修会 課外活動表彰伝達式
3月	3日	一般選抜試験後期
	8日	総合型選抜試験第4クール
	11日	オープンキャンパス③
	20日	令和4年度学位記授与式
4月	3日	入学式

※予定変更の場合があります。大学 HP で確認ください。

第53回 工大一祭

10月29日・30日、第53回工大一祭が開催された。今年は生徒と同居する家族のみの入場とし、2日間で500名を超える来場者があった。スローガン「意気衝天〜かっちゃましくらいがちょうどいい〜」（3GBクラス共同制作）のもと、短い期間の中で一致団結し、学年ごと（1年生：バルーンアート、ムービーシアター、2年生：コース展示、3年生：模擬店）の準備に取り組み、本番を迎えた。

29日は、第一体育館で開祭式、3年生女子の創作ダンスの発表、PRムービーコンテスト、カラオケ大会などが行われた。30日は吹奏楽部の定期演奏会も実施され、鑑賞している生徒からは大きな拍手が送られた。マリオカート大会や毎年恒例となっている大演芸大会なども開催され、会場は大きな笑いに包まれ、工大一祭は大盛況のうちに終了した。



心の教室

10月18日に「心の教室」が行われ、映画「インビクタス〜負けざる者たち〜」を鑑賞した。この作品は、人種差別的な激しい南アフリカ共和国をラグビーで一つにまとめた実話に基づいたもので、生徒たちは真剣な眼差しで鑑賞していた。

鑑賞後、生徒は「アパートヘイトの実態とネルソン・マンデラ大統領の偉大さについて学ぶことができた」、「人種の垣根を越えて国全体が一つになってW杯を制覇した姿に、互いを信じて協力し合うことの尊さが伝わって来た」、「今回の映画を見て、やはり勝つためには練習だけでなく、地域の人たちや応援してくれる人たちに感謝することが大切だと改めて気づかされました」と感想を述べた。

今回の「心の教室」を通して感じたこと、学んだことをこれからの生活に活かしてほしい。



第74回クリーン白銀

10月31日、74回目となるクリーン白銀を実施した。この行事は、学校周辺の美化活動を通じて地域社会への感謝と生徒の健全育成を目的として昭和54年から実施している。

1年生はたかのはし歯科医院から湊中学校方面、2年生は山手通りから八戸東消防署方面、3年生は白銀駅方面への通学路を各クラスから選出された総勢50名で行った。

途中で雨が降り出すあいにくの天気であったが、「いつもありがとう」と声を掛けてくださる方や親切に傘を貸してくださる方もいて、地域の方の温かさを感じた。

参加した生徒から、「いつもお世話になっている地域に少しでも恩返しをしたい」と感想が聞かれた。



令和4年度「税に関する高校生の作文」

仙台国税局長賞・八戸税務署長賞授与式

国税庁主催による令和4年度第61回「税に関する高校生の作文」において本校2年普通科総合コース大西真可珀さん(三本木中)が仙台国税局長賞を、3年普通科公務員コース奥井ゆうかさん(八戸二中)が八戸税務署長賞を受賞した。

11月15日、八戸税務署長伊藤浩美氏と八戸税務署総務課長乗田恵美子氏が来校し、大西さんと奥井さんの二人に表彰状が授与された。大西さんは「受賞の知らせを受け、大変驚いています。税に関する知識をさらに身に付けたいと思います。」と、また、奥井さんは「賞をいただき本当に嬉しく思います。今回の応募は、税について考える良いきっかけになりました。もっと関心をもって学んでいかなければならないと思いを新たにしました。」とそれぞれ感想を述べた。

この受賞が、次代を担う本校生徒の税に対する関心を深める機会となることを願う。



公務員コース

八戸海上保安部見学会

10月5日、2学年普通科公務員コースが八戸海上保安部研修会を実施した。

巡視船まべちに乗船し、船内の設備や海上保安部の業務内容について詳しく学んだ。参加した生徒は「巡視船の内部見学では、初めて目にするものばかりでした。海上自衛隊との違いを引き合いに出しながら業務内容について優しく丁寧に教えてくださり、理解することができました。」と感謝の言葉を述べた。



電気コース

令和4年度風力発電施設体験研修

10月12日、青森県エネルギー総合対策局エネルギー開発振興課主催の風力発電施設体験研修が六ヶ所村にあるイオスエンジニアリング&サービス(株)トレーニングセンターで行われ、工業科電気コース2年生31名が参加した。

午前中は風力発電の仕組みや概要についての説明を受け、昼食後はグループに分かれて発電機や増速機が入っているナセルの見学、実体験研修、実機見学を行った。

参加した生徒は「この研修会を通じて、風力発電に関する基本的な理解を深めるとともに、発電関係の仕事や職場への関心を高めることができました」と感想を述べた。



土木コース

八戸港現場見学会

10月3日、北日本海事興業(株)様のご協力により、2年工業科土木コース15名を対象に八戸港現場見学会を実施した。

当会社製作のジオラマ「防波堤ができるまで」を見学した後、洋上風力発電に関わる講義や消波ブロック製作現場や起重機船の見学、クレーン車の試乗体験などを行った。

防波堤の工事現場を見学する機会はとても貴重で、参加した生徒から「現場で働く作業員の方から、津波から市民を守るという使命感が伝わってきました」、「やりがいのある仕事だと感じました。知識をもっと身に付けたいと思いました」と感想が聞かれた。



令和4年度 進路状況中間報告

令和5年1月19日現在

【国公立大学、短期大学】

北海道教育大学岩見沢校、北海道教育大学函館校2名、釧路公立大学2名、弘前大学2名、青森公立大学、青森県立保健大学2名、秋田大学、秋田公立美術大学3名、岩手大学2名、岩手県立大学、山形大学、岩手県立大学宮古短期大学部

【私立大学、短期大学】

札幌国際大学、八戸工業大学12名、八戸学院大学2名、盛岡大学、東北学院大学4名、仙台大学、東北福祉大学、東北文化学園大

学、宮城学院女子大学、東北芸術工科大学3名、国際医療福祉大学、獨協大学、亀田医療大学、駒澤大学、共立女子大学、國學院大学、法政大学、亜細亜大学、ヤマザキ動物看護大学、東京医療保健大学、女子美術大学、東京造形大学3名、多摩美術大学、関東学院大学2名、同志社大学、北海道武蔵女子短期大学、仙台青葉学院短期大学

【専門学校、各種学校】

八戸保健医療専門学校、東北メディカル学院、八戸准看護学

院、青森県ビューティー&メディカル専門学校、専門学校アレック情報ビジネス学院、八戸保健医療専門学校、八戸理容美容専門学校、岩手リハビリテーション学院、MCL盛岡ペットワールド専門学校、盛岡ペットワールド、仙台ビューティアート専門学校、仙台ヘアメイク専門学校3名、専門学校デジタルアーツ仙台、東北電子専門学校、仙台eco海洋動物専門学校、仙台総合ペット専門学校、仙台デザイン専門学校、日本工学院専門学校2名、桑沢デザイン研究所

【公務員】

青森県警察官、自衛隊一般曹候補生4名、自衛隊自衛官候補生4名

【民間就職】

青森レコードマネジメントサービス(株)、(株)安住商会、(株)金入、(株)共立メンテナンス、(株)ホンダ四輪販売八戸、社会福祉法人桜友会、小久保保育園、社会福祉法人みろく会特別養護老人ホーム光葉園、東北容器工業(株)、八戸東洋(株)、(有)山神組、ワイエス(株)グリーンハウス事業部

美術コース誌上作品展



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

1. 富沢 優衣 (根城中)「青森遊園地」CG / B2
2. 田村 香花莉 (八戸二中)「街」CG / B3
3. 田畑 舞衣 (湊中)「KADO」CG / B1
4. 岡堀 愛心 (中沢中)「記憶I」油彩 / F40
5. 西澤 萌 (根城中)「CD ジャケットデザイン」CG / S6
6. 高田 明依 (六ヶ所二中)「ビションプー」アクリル / S6
7. 工藤 優花 (白銀南中)「夜」CG / B2
8. 大下 萌花 (下長中)「短編小説『道すがら』表紙」CG / B2
9. 萩野 蒼彩 (三沢一中)「寄る辺なみ」油彩 / F50
10. 荒川 結 (階上中)「逃がし場」油彩 / F60



夢相伝講座



11月9日、1学年の総合的な探究時の時間の活動の一環で、「先輩から後輩へ 夢相伝講座」が実施された。この企画は若者の県内企業への就職や県への定着を促進するためのもので、県企画政策部地域活力振興課の協力の下、県内企業で活躍する10名の講師を迎え行われた。

生徒たちは先輩方が語る社会人の立場から見る仕事のやりがいや苦勞について、真剣に耳を傾けていた。「未来を切り拓くためには今が大切なのだということを改めて感じた。今後の高校生活に悔いが残らないよう、将来のためにやれることはしっかりとやっていきたい」と生徒たちは感想を口にしていた。



青森県の課題を考えるグループワーク

12月2日、青森県選挙管理委員会の協力で明治大学の藤井剛准教授を講師に迎え、青森県の課題を考えるグループワークを実施した。

生徒たちは事前に配布された資料を参考に青森県の課題を見つけ、その解決策についてグループごとにアイデアを出し合い意見をまとめ発表した。「農林水産業」をテーマにしたグループでは、林業の後継者が不足している問題に触れ、中高生が林業を体験する機会をつくるなど、意見をまとめていた。参加した生徒たちは「青森県について知るきっかけになった」「身近な話題に関心を持つようにしたい」などと話していた。



気候変動理解のためのワークショップ

12月9日、東北地方環境事務所環境対策課の金鋼一氏を講師にお招きし、気候変動について考えるワークショップを行った。

生徒は6グループに分かれ、20以上に区分された様々な自然現象や社会現象の相互関係を考えるグループワークに取り組んだ。

グループワークは、一見無関係に見える現象も共通の原因から派生していることやさらにその原因は人間のちょっとした行動変容により取り除くことができるという気付きを生徒らにもたらした。

まとめでは、趣向を凝らしてユニークな発表をするグループもあり、大いに盛り上がった。生徒たちは「温暖化防止に対する考え方が変わった」「一人ひとりが自覚を持って行動を変えることが必要だ」などと感想を述べていた。



修学旅行

新型コロナウイルス感染症の影響は、全国の教育機関にも大きな影響を与え、本校でも2020年度から2021年度までの2年間、修学旅行は中止を余儀なくされた。

こうした中、今まで以上に安全を担保しつつ思い出深いものにできるよう計画し、修学旅行を2年ぶりに実施した。今

回参加した2学年の生徒たちは、中学3年生の時に新型コロナ感染拡大の影響を受けた世代であり、また格別の思いがあったようである。旅行後の意識調査では、参加生徒の97%が「参加して楽しかった」と答えており、久しぶりに実施できた学校行事が良い思い出になったことがうかがえる。今後も感染防止に配慮しつつ学校生活の充実に努めたい。



高校総合文化祭

■美術部門 10月8日、弘前市総合学習センターにおいて第43回青森県高校総合文化祭美術部門開催され、美術コース2年の猪股紗葉さん(市川中)が最優秀賞、橋場柚里奈さん(大館中)と丸谷佳乃さん(白銀南中)が優秀賞を受賞した。

この3名の作品は、来年度鹿児島県で開催される全国高総文祭に選出され、猪股さんの作品は、審査員から「色彩感覚が魅力的で構図も独創性がある。作品を通して自分の思いを表現するところまでたどり着いている」と評価された。



■演劇部門 9月17日・18日、八戸市を会場に演劇部門地区大会が行われ本校は

楠優華里さん(美術コース2年/根城中)作の脚本「神様はもういない」を上演し最優秀賞を受賞。県大会では、優秀賞第2席を受賞した。

作品は母娘関係がテーマに進学などでこれから親離れしなければならない母娘の心情を豊かに描いたもので、生徒創作脚本賞を受賞した。

また、志田彩夏さん(情報ビジネスコース2年/階上中)と楠優華里さんは演技賞を受賞した。全国的にも高校演劇がさかんな青森県で入賞することができた、生徒たちを讃えたい。



はっぴょうかい



年中組 遊戯
「ソイヤ！」



「なるこをもって
かつこよく！」



年長組 音楽劇
「ピーターパン」

「さあ、かかってこい!!!」

満3歳組 遊戯
「はたらくくるま」



「おしごと がんばるぞ~!!」

「かわいくポーズ♡」



年少組 遊戯
「ポポポポ ポーズ」



12月9日(金)に行われたクリスマス会。総練習ではほとんど緊張も見られず、衣装をつけ、すっかり役になりきっていた。自分以外の踊りも覚え、口ずさみながら踊る姿が見られた。果たしてどうなるかと迎えた当日、練習の成果を存分に出し切り、しっかり最後のポーズをとる子どもたちに惜しめない拍手が送られた。新型コロナウイルス感染症の影響で3年ぶりに行われたアトラクションは、ほとんどの子どもたちにとって初めて経験。サンタさんの姿に驚きを隠せない子もいたが、プレゼントを持ってきたと聞いた途端表情が変わった。子どもたちはプレゼントを開けるのを楽しみに帰っていった。



「サンタさん、
プレゼントありがとう♡」

夢の国「さくら幼稚園」

「いやだ。いかない」と泣く孫娘。断腸の思いで玄関の中の先生へ。

「園長先生、孫でようやく経験することができました」そんな話をした2年前の春。3月生まれのまだまだ赤ちゃん。一人で園内を探索したり、先生の話をきちんと聞けなかったりと手のかかる子だったはず。 「元気に遊びましたよ」「今日は、〇〇しましたよ。上手にできましたよ」その言葉や先生の笑顔に何度も助けられました。

我が子3人も卒園児。「バスに乗りたい」とバ

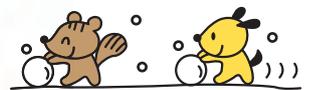
ス通園にあこがれていた娘。大好きな先生と離れたくないと言った息子。「先生と約束したから泣かない」と言っていた息子。「熱があるからお休みね」「今日は、土曜日だから」と言っても「やだーいくー」と泣く孫。入園時には思いもよらない変わりよう。先生はどんな魔法が使えるの？魔法使いかも。さくら幼稚園は、「夢の国」だと思っています。じいじも卒園児。4代目もお願いします。



(年長ゆり組 小沢あんずちゃんの祖母)
小沢 由起子さん



ようちえんってこんなところ



～SDGs さつまいも掘り～



「おおきい さつまいも とれたよ!!!」

～勤労感謝の集い～



「うんでんしゅさん、いつもあんせんうんでんありがとう。」

～お店屋さんごっこ～



「いらっしやいませ、おいしいピザいかがですか!」



とらんぽりん

～ある日の保育日誌～



満3歳いちご組 11月2日(金)

警察ごっこが始まり、警察官になったA君に「おまわりさん、たすけてくださいー」とB君。早速、「しゅつどう!」とパトカーを走らせたが、B君の元に行くわけでもなく、ほったらかしにして部屋中を歩き回ただけで発展することもなくそのまま終了。警察官ってこうやるんだよと教えるも興味なし。好きなのはパトカーそのものだけなのか、本人はいたって満足気だった。取り残されたB君は、別の子に誘われて違う遊びをしていた。



「おたんじょうかひに、かわいいデザートがでたよ♥」

年少組 11月30日(水)

ボールプールの中に数個だけ入っている星型やハート型のボールを探すことに。夢中な女の子たち。必死に探しつけては手に持ち、時間いっぱい離そうとしない。一方、男の子はボールプールの中で泳いでいた。そんな中、ひたすらプールの外に出たボールを拾い集める男の子がいた。「ハートみつけてよかったなー」「みんながだしたボール、ほくがかたづけたんだよ」と嬉しそうにしていた。楽しみ方は人それぞれという当たり前のことを再確認した場面だった。

年中組 11月30日(水)

久しぶりに全体で折り紙。慣れない子もいるので、一つ一つゆくりと作り方を教えた。子ども達はしっかり聞き、多少形が崩れても自力で完成できた。折る度に「アイスクリームにみえる!」「こんどはロケットだ」と楽しんでた。最後にストローでペープサート仕様にすると「ほくは、サンタクロースだよ。こんにちは!」などと会話しながら遊んでいた。「もっとつくりたい」とリクエストがあったので、次はお話の世界が広がるようトナカイでも作ろうと思う。

年長組 10月26日(水)

楽しみにしていたお店屋さんごっこ。好きなものを存分に買い、作ったものは完売し、ご機嫌な子どもたち。商品が一番早く売り切れたC君たちに、お客さんの呼び込みをもらった。C君が何度か部屋に戻るのを見てみると、残っている品物の数を数え、「〇〇はあと〇〇だよ」と声をかけていた。昨日の体育教室でも輪の中に入れないでいる子に気が付き、声を掛け入れてやっていた。よく周りを見て、自分で考え行動する姿に成長が感じられ嬉しかった。



～ちびっこ防災広場～
「しょうぼうしさんとぼうずいくんれん!かっこいいな～」

北東北の魅力に感動



10月27日～29日にかけて、3年生が「東北の歴史・文化・産業・SDGsに関わる取り組みを学ぶ」をテーマに、修学旅行で秋田・岩手方面を訪れた。

1日目は尾去沢鉱山にて砂金取りを体験し、小坂鉱山事務所を見学して鉱山近代化について深く学んだ。夕方には、入道崎にて日本海に沈む夕日を見ることができ、生徒は皆その姿に感動していた。

2日目は男鹿水族館 GAO、なまはげ館・真山伝承館、寒風山、角館を訪れた。特に、なまはげ習俗学習では、なまはげ

の迫りに皆驚いたが、実は家族の幸せを願う風習であることを知った。

3日目は中尊寺金色堂とえさし藤原の郷を訪れた。金色堂の輝きや螺鈿細工は観るものを惹きつけ、えさし藤原の郷では鎧や時代衣装を身につけて、平安・鎌倉時代の世界に思いを馳せて写真を撮る生徒もいた。

北東北の各分野について学習しその魅力に触れ、心豊かになった修学旅行であった。



将来を考える校外学習

10月7日、第2回校外学習を実施した。今回の校外学習は初めての試みとして、自分達で目的地を設定するというコース別研修を行なった。

3年生が自分の将来を見据え訪れたい場所を設定し、1・2年生は3年生が設定したコースの中から自分の学びたいコースを選択した。そのコースは、青森朝日放送などの青森方面コース、東北大学大学院浅虫海洋生物学教育センターで研究を行なった浅虫方面コース、岩手銀河鉄道 IGR などの盛岡方面コース、スポーツや法医学・自衛隊について学んだ八戸市内コースの4コースである。生徒は自分の将来就きたい職業についての説明を集中して聞き、どんな資格をとればその職業に就けるかなど、熱心に質問する様子が見られ、充実した時間を過ごすことができた。

初めてコース別研修を経験した生徒は「自分の将来について、実際にその場所を訪れ質問できたので、改めて考える時間となり、とても勉強になりました」と話していた。



広報委員会よりお知らせ

皆様にお届けしてまいりました法人広報誌「蒼穹」は、今号を持ちまして発行を終了することとなりました。皆様にはこれまでご愛読いただき、誠にありがとうございました。

蒼穹は開学当初から発行されていた学園だよりを受け継ぎ、平成5年4月に第1号を発行して以来、今年で30年を迎えます。これを節目として、法人グループの各学校園が発信しているHPやTwitterなど様々なSNSに役目を委ねることにしました。

蒼穹は今号が最後となりますが、各学校園ではこれからもタイムリーな情報発信を提供してまいりますので、引き続きよろしくお願いたします。

法人広報委員会一同

プログラミング出前講座 byろぼっと娘

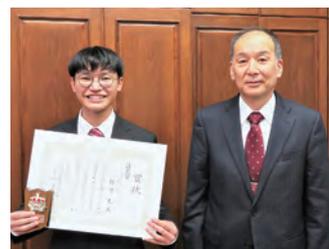
12月3日、1年生を対象に八戸工業高等専門学校の「ろぼっと娘」による出前授業が実施された。本校でのプログラミング出前授業は今年で5回目を迎えた。

事前にオンラインでリモート授業を受け、今回は実際に来校していただいたの学習となった。「iPadとマイクロビットを活用してロボットを動かす」ということを目的とした活動であった。今回のプログラミング授業を通して、生徒からは「プログラミングをすることで、自分でロボットを操作する難しさと面白さを学ぶことができた」などの感想があげられた。



村田君受賞

八戸市連合父母と教師の会主催「第七十五回市内児童生徒お話弁論大会」において2年村田晃大君（赤保内小）が優良賞を受賞した。



理事会・評議員会 (10月から12月に開催の主な内容)

- ・「学校法人八戸工業大学設置高等学校スクール・ミッション」制定に関する件
- ・「学校法人八戸工業大学資産運用」に関する件
- ・八戸工業大学創立50周年記念事業寄付金に関する件
- ・八戸工業大学工事の契約に関する件
- ・「八戸工業大学地域産業総合研究所規程」改正に関する件
- ・「八戸工業大学図書館規程」改正に関する件
- ・「八戸工業大学工作技術センター規程」改正に関する件
- ・「八戸工業大学基礎教育研究センター規程」改正に関する件

表紙 1号から150号の蒼穹表紙